



かぶしががいしゃやまぐちけんせつこんさるたん

# 株式会社山口建設コンサルタント

令和7年7月22日認定

## ○企業概要

|       |   |
|-------|---|
| 代表者   | 代表取締役 中村 高志   |
| 所在地   | 山口県山口市富田原4-36   |
| 事業内容  | 建設コンサルタント業  |
| 労働者数  | 58名（男性42名、女性16名）  |
| 企業のHP | <a href="https://yamacon.co.jp">https://yamacon.co.jp</a> |



## ○一般事業主行動計画に定めた目標とその達成状況

|            |   |
|------------|---|
| 計画期間       | 令和3年12月20日～令和7年3月31日  |
| 目標         | <ol style="list-style-type: none"> <li>社員の長時間労働を縮減し、ライフワークバランスを確保できるよう実態を把握し、対応方針を策定する。</li> <li>仕事と子育ての両立を図るため、年次有給休暇の取得を促進するとともに、ノー残業デーを実施する。</li> <li>将来的に「育児休業取得率100%」及び「1ヵ月以上の育休取得」を推進し、計画期間内に男性社員の育休取得率を20%以上、女性社員の育休取得率を75%以上にする。</li> </ol> |
| 目標に対する取組内容 | <ol style="list-style-type: none"> <li>社員ヒアリング等により実態を把握し、対応策の検討、社内規定等の追加・見直しを実施。</li> <li>年次有給休暇の取得状況や課題等を把握し、各社員のスケジュール共有を進め、部署ごとに取得計画を策定。月2回のノー残業デーを開始。</li> <li>育児や不妊治療と仕事の両立等に関する相談窓口を社内外に設置。全社員を対象に外部講師による研修を実施。</li> </ol>                    |

## ○育児休業取得率

(期間中育児休業取得者数/期間中出産者数による。)

(育児休業取得者数/期間中配偶者出産者数による。)

|               |      |               |     |
|---------------|------|---------------|-----|
| 女性労働者の育児休業取得率 | 100% | 男性労働者の育児休業取得率 | 50% |
|---------------|------|---------------|-----|

## ○その他の取組状況

|                |   |
|----------------|---|
| 育児をする労働者のための措置 | 小学校就学前までの子を育てる者を対象とした所定外労働の制限制度、短時間勤務制度を整備。 |
|----------------|---|

## ○認定企業の声

【事業主から】この度、くるみん認定をいただけたことを大変嬉しく思います。当社はここ数年で従業員が急激に増加したこともあり、従業員が安心して仕事に取り組むことができる職場環境づくりが必要でした。このため、育児・介護・病気等に関する会社独自の休暇制度を整備し、制度の理解を促す研修を実施するなど休暇の取得を推進してきたところです。また、産前産後休暇、もしくは育児休業(30日間)を有給対応とし、給与面でのサポートも行っています。こうした中で、くるみん認定に向けた取組は、改めて年次有給休暇取得率の向上や時間外労働の削減、育児休業取得等について話し合うきっかけとなり、現場の声を共有する良い機会となりました。今後さらに働きやすい環境整備に向けた取り組みを行っていきたいと思います。

【女性労働者2名から】

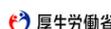
◆入社直後に妊娠が判明し、会社としてはイレギュラーなことと思いきや退職しなければいけないかも、と頭をよぎりましたが「気にすることないよ」と声をかけてもらい安心しました。1年はあっという間で、復帰時には短すぎると思いましたが、今は案外このくらいの期間がちょうど良かったと感じています。子どもの人生で一番かわいい時期を一緒に過ごせて良かったです。

◆環境や仲間、制度が整っており、すぐに代替要員の方を探してもらえたので、産休前の引継ぎがスムーズにできました。円満な家庭を築きながら高いモチベーションで職場に復帰することが、仕事の「質」向上につながると感じました。1番心配でかわいい時期を片時も離れず見守ることができ、幸せな時間を過ごせました。

【男性労働者2名から】

◆育児休業を取得したことで、長女の送り迎えと次女の看護を夫婦ですることにより、不安が解消されました。育休を取得できるように環境は整えてあることから、上司や同僚も取得することに賛成してもらえ、協力的だったので助かりました。

◆妻が出産前から「出産後も夫が家にいてくれる」という安心感があり、不安なく出産に臨めたと話していました。育児休業の取得に対して、上司・同僚ともにポジティブな反応で、快く背中を押していただきました。育児には体力も気力も必要で、想像以上に大変でしたが、その中で「育児は二人でするもの」という意識を改めて実感することができました。家族との時間はかけがえのないものであり、社内の雰囲気も取得に前向きで、実際に取得しやすい環境が整っていると感じました。



山口労働局